

私達の兄弟は、此の苦しい悲惨な生活を何とかして改善しやうと思つて、労働組合を組織した、處が會社は無謀にも幹部十一名を突然誅首してしまつた。町民諸彦よ!! 今の世の中に労働者が労働組合に加入したからといつて誅首するといふ非理を誰が許しませう。

本年の國際労働會議に於ても、日本の政府代表は**日本では立派に労働者の團結の權利を認めてゐる**と堂々と發表してゐるではありませんか。然るに大日本紡績は、此の重大な國家社會の規則を一人で破つて迄四千人の労働者を酷使しやうとしてゐるのであります。斯の如き暴舉を敢てしても資本家なるが故に許されるなればそれこそ日本の社會は闇黒となつてしまふでせう。

會社が斯る惨酷な事をするのは、今後作業短縮と云ふ名目でドン／＼私達を誅首するのに労働組合があると會社の思ふ存分解雇出來ないからであります。私達はそれを思ふ時一日として安心して働く事が出來ません。

### ▼悲惨な私達の生活

私達大多數の工女は、會社の工女勤務員の子と言葉につられて、會社は立派な所と思つて來て見れば、朝は暗い内から夜は晩くまで機械の前に立ち通して、綿煙りのモウ／＼と立つ中で働かされ。三度の食事も外國米に麥半分と云監獄飯其儘なものを與へられ、營養不良と寢不足で若き乙女の身の肺を蝕かされて世を去つたものが幾人あるか知れません。國から親が危篤といつて電報が來ても、田舎の役場に問合せ三四日もたつてからでなくては歸國を許さないの、歸つて見れば、いさゝしい病親は早や此の世を去つて會えないといふ悲惨な目にあつた姉妹が幾百人居るか知れません。皆様何といふ悲しい慘酷なことでありませう。

### ▼會社は此の不景氣に一割六分の配當

私達がこうしたみじめな働きをしてゐる一方會社では、皆様も新聞で御承知の通り**本年も一割六分の配當を重役會議で決定**しました。何んといふヒニクな事だせう、加之ならず、會社は、日本だけではあきたらず一億圓といふ莫大な金を支那に投じて、上海に、大紡績工場を建つてゐるのです。

### ▼私達の態度

私達は決して無理な要求はして居りません、**世間並に人間並にあつかつて貰ひたい**のです。

私達と同じ仕事の東京モスリン會社、東洋モスリン會社、富士ガス紡績會社に於ても皆んな労働組合を認め、さうして労働組合の代表者と會社の重役と交渉して總て職工の待遇を改善してゐるのです。私達は次の如き**遠慮深い**要求を會社に提出しました。

- 一、食事には内地米にして麥を二割位にして下さい。
- 二、通勤手當金は今迄通り出して下さい。
- 三、他會社並の退職手當をこしらへて下さい。
- 四、強制休業には日給全額を拂つて下さい。
- 五、今回の解雇者を復職させて下さい。
- 六、操業短縮の解雇者を出さないで下さい。
- 七、労働組合加入の自由を與へて下さい。

然るに會社は、此の私達血涙の要求を拒絶したのみか、作業中であらうが休憩時間であらうが監視が睨付けてゐて話し一つさせない。昔し印度の奴隷といふのはこうしたひどい目にあつたものを言ふのでせう。

私達は此の暴虐に對してどうして黙して居られませう。憤慨せずに居られませう。要求貫徹する迄は、飽迄戦はなければなりません。

**十一名の同胞を見殺にする事は出來ませぬ**、親愛なる町民諸彦よ! 正義の爲めに、悲惨なる四千人の弱者の爲めに、御同情あらんことを切に望むでやまないものであります。

## 大日本紡績會社橋場工場従業員一同

## 日本労働同盟紡織労働組合

芝區二田四國町二、電話高輪三三九〇